

「神田明神」を基にした浴衣デザイン
～千代田区活性化モデルの確立～

共立女子大学

家政学部 被服学科

宮武恵子 後藤純子 田中淑江

大塚絵美子 田代斐音 長谷川紗織

はじめに

共女子大学があるこの土地を古くから守っている神田明神。
そこを学生達で訪れ、神社の意匠や歴史を宮司の方から教えていただき、
インスピレーションを受け、デザインをおこしました。
各自で制作(染色・制作)した浴衣をコーディネートまで考えたものが
浴衣スタイリングショーでございます。
多くの方のご協力をいただきお披露目できるまでに至りましたことを、
この場をお借りして御礼申し上げます。

事業内容

平成28年度に地域連携・産学協同プロジェクトとして、江戸の文化と伝統を受け継ぐ千代田区「神田明神」のイメージからデザインを発想し、浴衣の制作を行った。そして制作した浴衣を表現する場としての「2016浴衣スタイリングショー」を開催した。その結果、大学プレスリリースを通して、メディアからの取材が入り、「神田明神」と千代田区にある本学とのコラボレーションである企画主旨を広く告知することができた。また平成28年8月1日(月)には、千代田区役所前で行われた「区内一斉打ち水の日」に自作浴衣を着用して参加し、千代田区のイベントの広報の一旦を担うことができた。

本事業はこのプロジェクトを基に、より発展的な事業モデルの確立を目指している。「神田明神」と連携することにより千代田区のブランドを広くアピールすることができ、その結果千代田区活性化事業モデルとしての確立を目指した。本事業の新企画としては、男物浴衣などの提案や、発表する場への集客を学外・区民などを巻き込み広く告知することを構想した。

1. 学生によるデザイン開発

共立女子大学 家政学部 被服学科の3年生・4年生の有志により調査・研究に基づくデザイン発想、広報、発表の場としてのスタイリングショーの企画・演出・運営。事業の組織は、専任教員3名、助手3名と学生有志20名とした。学生有志は、組織(1)被服学科公認団体Kyoritsu Creative Club(略:KCC)15名と

組織(2)伝統染織技法実習(和裁)の授業を履修し和服に興味深い4名の2つの学生組織である。

組織(1)のKCC3年生は千代田区に東京本社を構える繊維専門商社である豊島(株)、KCC4年生は大阪府に本社を置く繊維商社である帝人フロンティア(株)に学生の柄デザインを印刷した反物を提供いただいた。帝人フロンティア(株)に依頼する理由は、合成繊維の浴衣地(冷感速乾機能有)を扱っており綿浴衣地以外の新しい提案が必要であると考えたためである。

組織(2)の伝統的染織技法に興味を持つ学生は、自身で絞り染めを行い、反物の染色を行った。

2. 学生が取り組むテーマ

「神田明神」をテーマとして、日本の伝統的衣類である和服の浸透を考える。伝統的な和服・浴衣の概念に基づいた発想。130年の歴史を持つ本学の教育・研究を基盤とした伝統的な概念に添いながらも、学生らしい新しい発想の提案を行った。

ファッションとしての和服・浴衣を発想。伝統的な概念にとらわれない自由な発想を重視し、ファッションとしての和服・浴衣を提案した。

既成概念にとらわれない学生らしい自由な発想は、和装業界の活性化になる可能性がある。

また本学国際学部の留学生への告知もでき、「神田明神」も含めて日本文化を海外へ提案するきっかけとなった。

地域連携・産学協同プロジェクト

2017 浴衣スタイリングショー

までの軌跡



平成29年7月5日 水曜日 18:45～

会場：共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス 2号館
コミュニケーションギャラリー

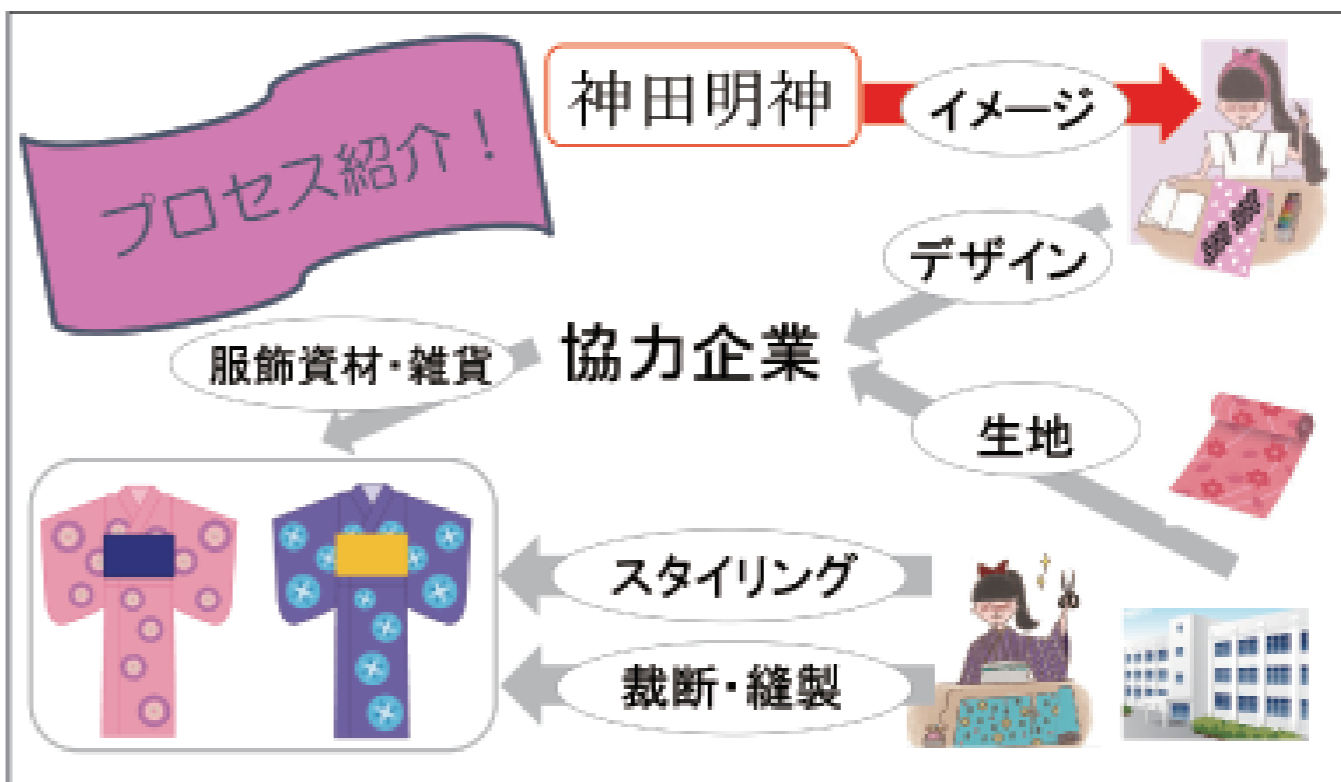
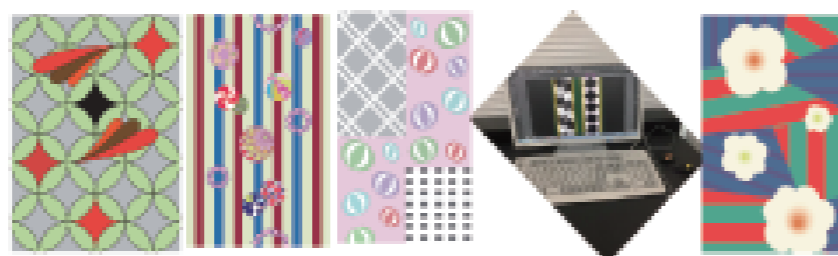


✿ 伝統染織技法(絞り染め)

江戸総鎮守 神田明神から発想

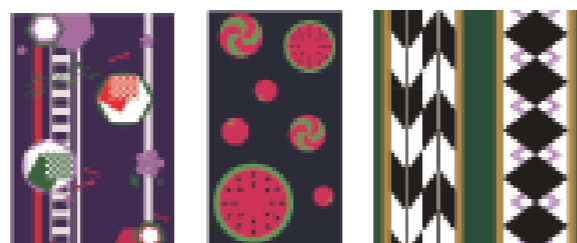
被服学科有志2年生・3年生・4年生

✿ ファッション浴衣



Fashion YUKATA

ファッション浴衣 ✿

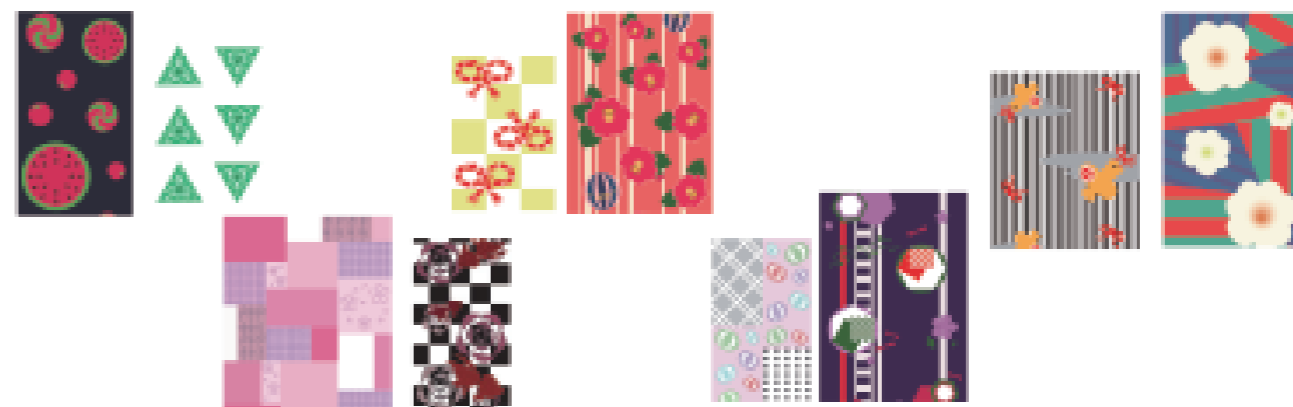


被服学科公認団体 Kyoritsu Creative Club

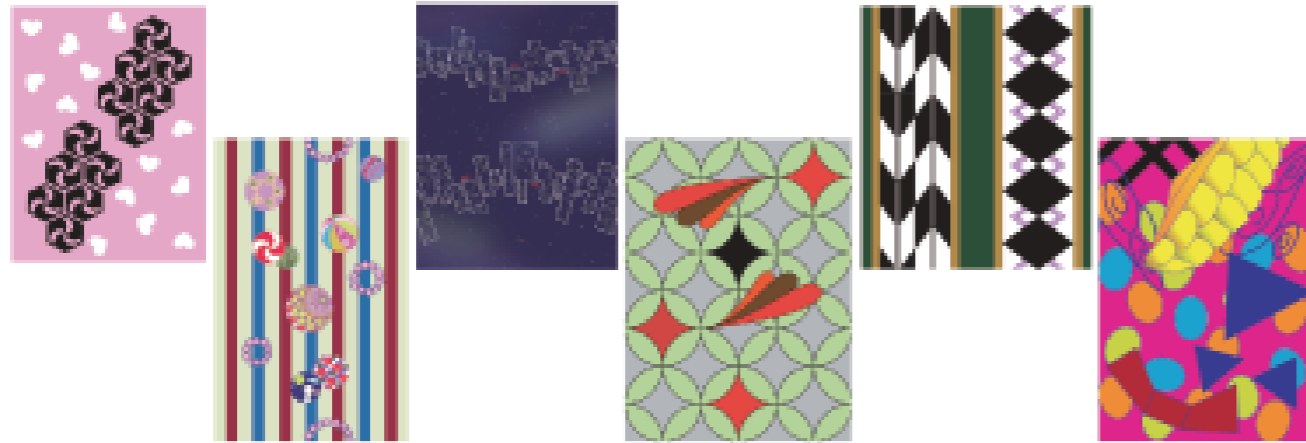


KCC

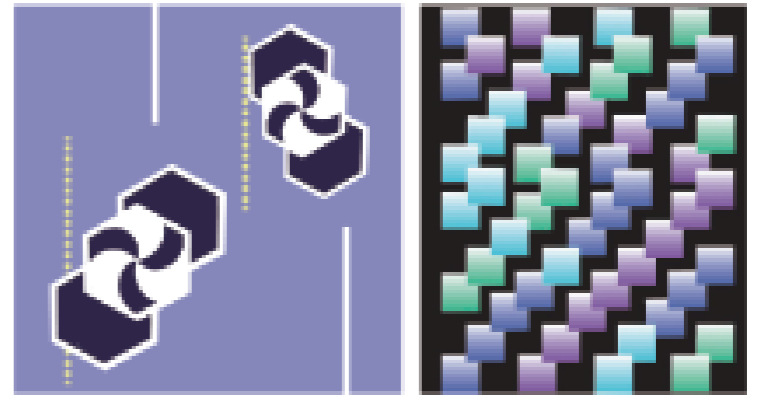
3年生作品



4年生作品



メンズファッション浴衣



男物浴衣の提案もします

Design

神田明神

発想

イメージ

結び目

大黒様

建造物

神紋

縁結び



裁断 (3年生)

パターンを使用して
裁断した3年生



裁断 (4年生)

和裁技法を
基に裁断した
4年生

浴衣スタイリング
考案中

帯の結び方や
着飾りも様々

縫製完成

伝統染織技法
(絞り染め)

被服平面造形研究室
田中淑江教授
長谷川紗織助手

指導

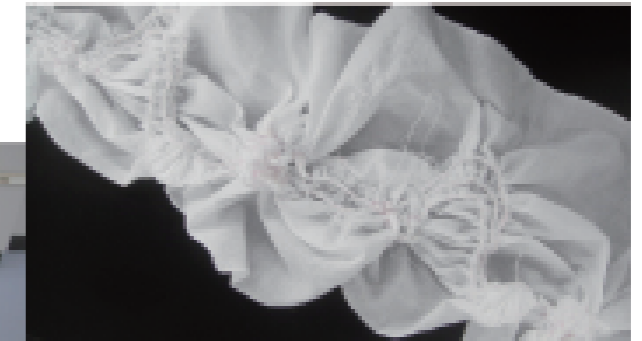
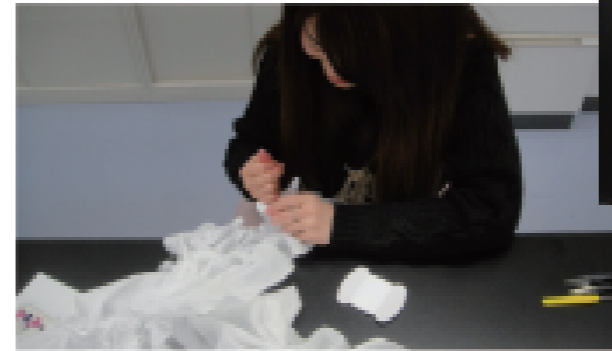
被服管理研究室
後藤純子教授
田代斐音助手

絞り染めとは？

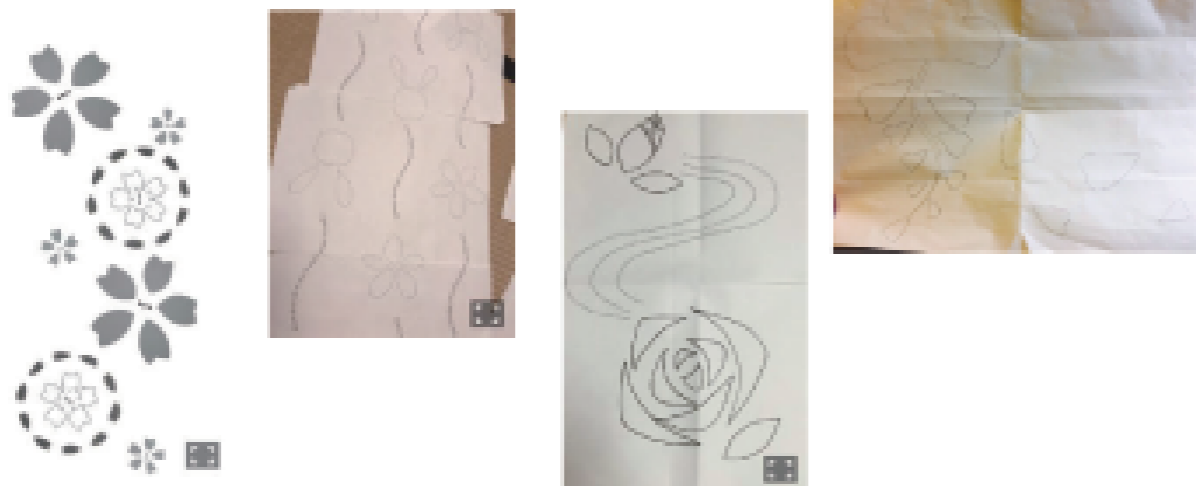
縫い締めたり、布をくくったりして、
その部分に染料が入らないようにして
様々な模様を染め出す染織技法のひとつ

→工程を紹介！！

絞り染め工程 縫う・絞る



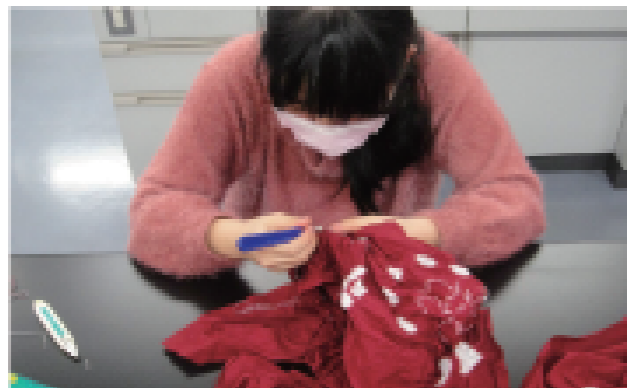
絞り染め工程 デザイン発想



染め工程 染める

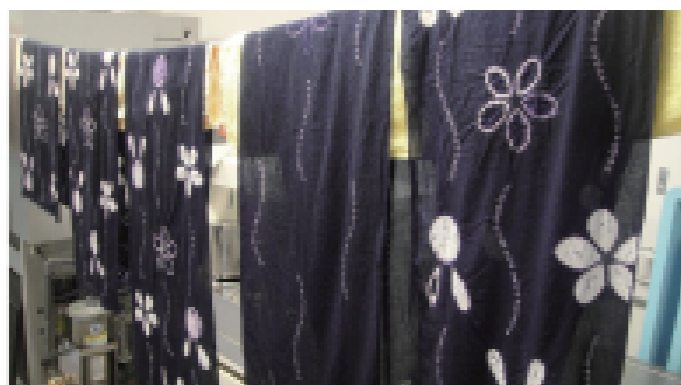


染め工程 **糸取り**

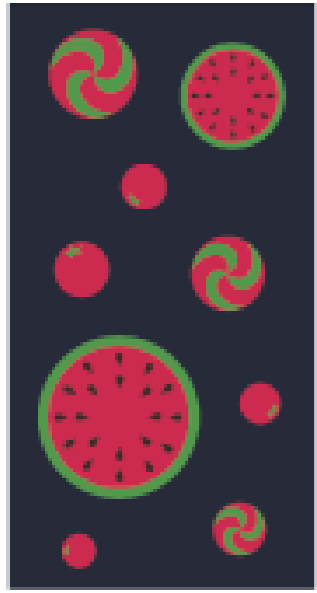


作品・スタイリング集

染め工程 **仕上げ**

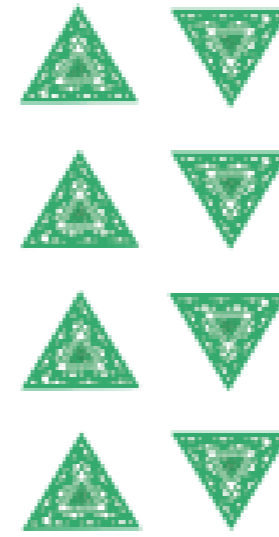


2016年10月から
絞り練習を始めて
約半年かけて完成



◇ 浴衣デザインのモチーフ
スイカと神紋

◇ モチーフ発想の理由
神田明神の神紋と、神田明神ができた江戸時代に日本で食べられるようになったスイカをイメージしました。



◇ 浴衣デザインのモチーフ
御祭神

◇ モチーフ発想の理由
大己貴命は縁結びの神様であり、中心に人を連想した葉の形を重ね、少彦名命は商売繁盛の神様であり、お金から宝石を、平将門命は除災厄除の神様であり輪から厄を逃すイメージにしました。



front

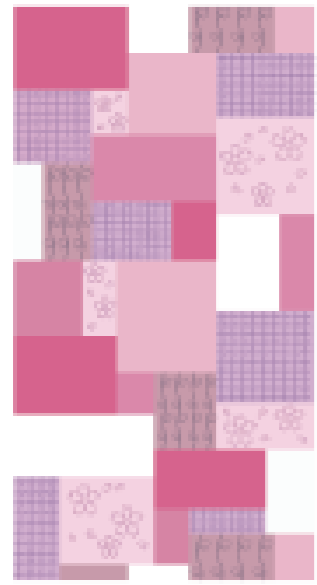
back



front

back





◇ 浴衣デザインのモチーフ
桜、石畳

◇ モチーフ発想の理由

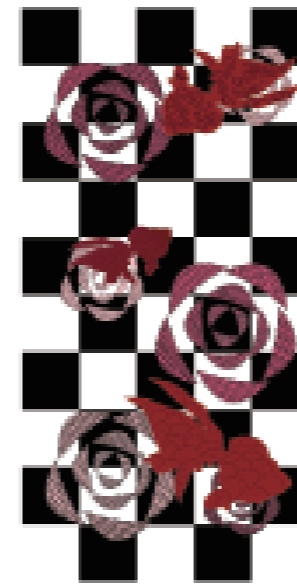
神田明神のお祭神が縁結びとしても親しまれていることからピンクを取り入れました。形は石畳を、ピンクの色合いは桜をイメージしました。



front



back



◇ 浴衣デザインのモチーフ
金魚

◇ モチーフ発想の理由

神田明神は神田(神田明神の巴紋)、日本橋(橋模様)、丸の内(レンガ)、秋葉原(バラ・レース)の町々の総氏神様です。町々と神田明神の繋がりを表現しました。

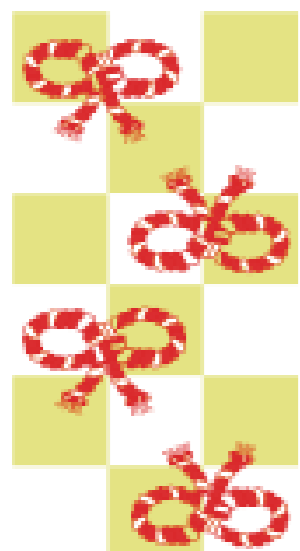


front



back





◇ 浴衣デザインのモチーフ

鈴緒・柱

◇ モチーフ発想の理由

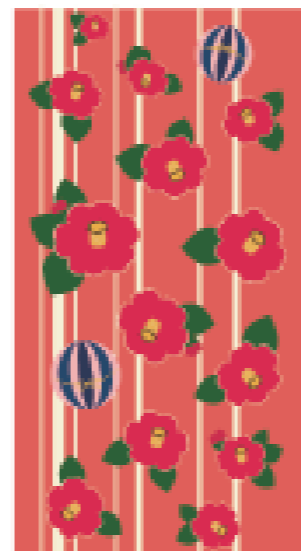
お参りするときに鳴らす紐をリボン状にし、
神田明神は縁結びの効果があるということで縁結び
を表現しました。また、黄色と白の格子柄は柱が
交互になっているところから発想しました。



front



back



◇ 浴衣デザインのモチーフ

椿・縁・鞠

◇ モチーフ発想の理由

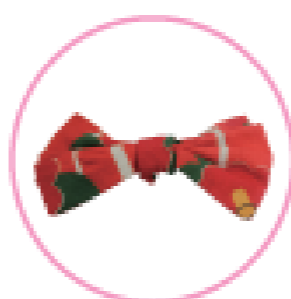
神田明神の社殿の美しい赤から椿の花を、縁結びの
神社であることから縁を意味する線を連想しました。
また、境内で子供たちが鞠つきをしている情景が
思い浮かび、鞠も取り入れました。

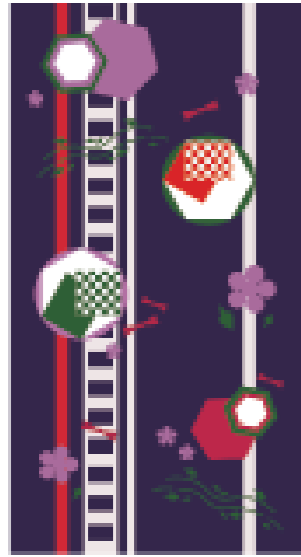


front



back





◇ **浴衣デザインのモチーフ**
水野年方顕彰碑と境内の装飾

◇ **モチーフ発想の理由**
境内の伝統的で品のある装飾と、神田明神の近くで生まれた水野年方の五角形の顕彰碑に惹かれ浴衣のデザインに取り入れました。



◇ **浴衣デザインのモチーフ**
提灯・鞠

◇ **モチーフ発想の理由**
神田明神を訪れた際、丸かったり、模様が入っていたりと様々な形、柄の提灯があり、それぞれの特徴を取り入れデザインしました。



front



back

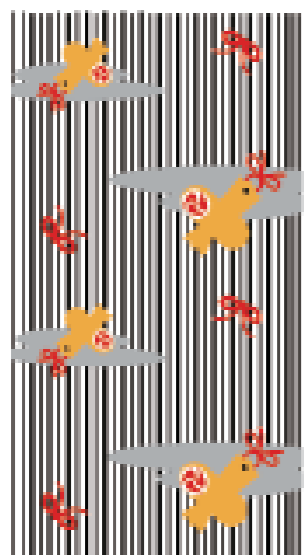


front



back





◇ 浴衣デザインのモチーフ

小槌

◇ モチーフ発想の理由

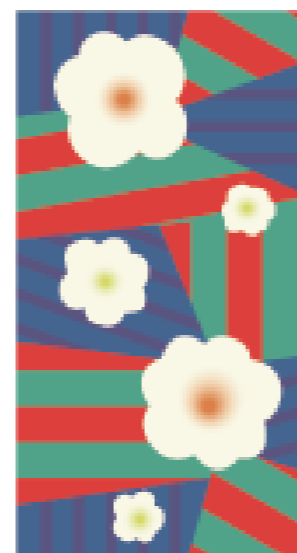
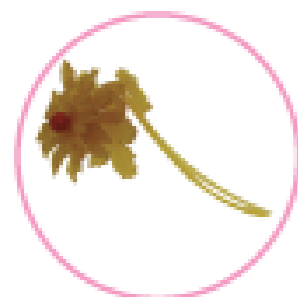
神田明神のご祭神で縁結びの神様として有名な大己貴命が握っている小槌をイメージしました。また、運命の赤い糸を縁結びとして連想し、赤いリボンを合わせました。



front



back



◇ 浴衣デザインのモチーフ

牡丹

◇ モチーフ発想の理由

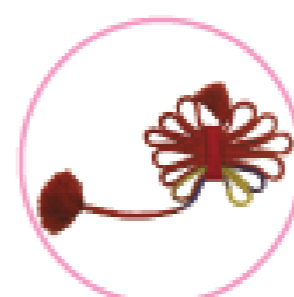
神田明神にある獅子山から獅子の名前がつく白王獅子という牡丹の花をモチーフに、本殿の象徴的な赤と緑を組み合わせました。

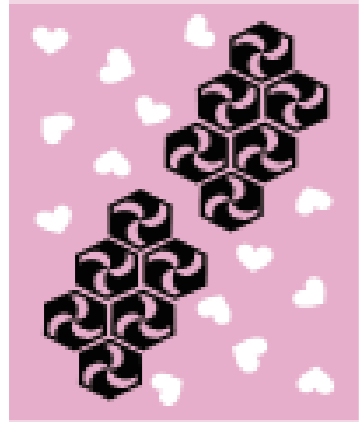


front



back





◇ 浴衣デザインのモチーフ

神紋・亀甲模様・猪の目

◇ モチーフ発想の理由

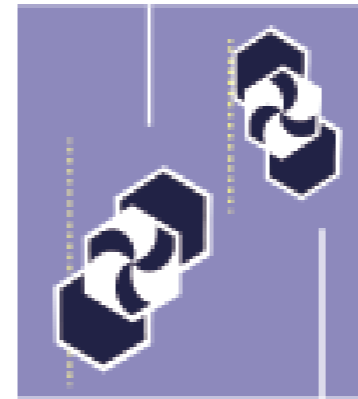
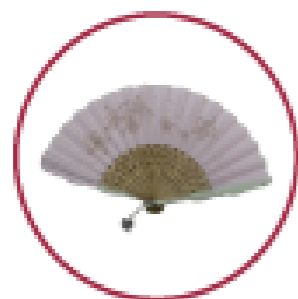
神田明神の主祭神である大黒様が縁結びの神様であることから、神田明神の神紋と縁起の良い亀甲模様を組み合わせた柄をモチーフとしました。また、招福の意味がある猪の目を合わせました。



front



back



◇ 浴衣デザインのモチーフ

神紋・亀甲模様

◇ モチーフ発想の理由

女物と同じく神田明神の主祭神である大黒様が縁結びの神様であることから、神田明神の神紋と縁起の良い亀甲模様を組み合わせた柄をモチーフとしました。

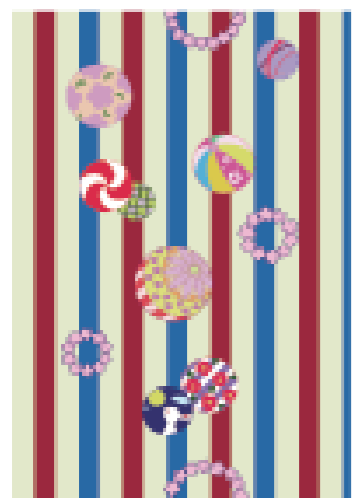


front



back





◇ 浴衣デザインのモチーフ

鞠

◇ モチーフ発想の理由

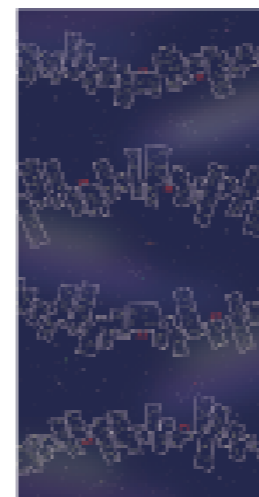
ご利益があるとされる夫婦円満・縁結びなどの「えん」から円(丸)を連想し、鞠をモチーフにしました。鞠には神田明神にまつわる様々な柄を詰め込んでいます。



front



back



◇ 浴衣デザインのモチーフ

星・丸・線

◇ モチーフ発想の理由

神田明神の本殿の五芒星や八芒星を思わせる装飾から星を、御祭神である大黒様のご利益の縁結びの「縁」と同音の「円」から丸を、線という言葉が持つ繋がりから線の発想しました。



front

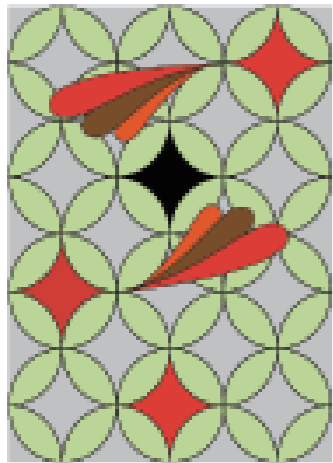


back



◇ 浴衣デザインのモチーフ

円

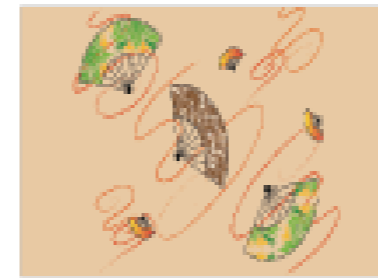


◇ モチーフ発想の理由

縁結びということから円をイメージしました。
三つの羽は神社の屋根にある
「火事にならないように」と意味の込められた
鳥の羽をイメージしています。

◇ 浴衣デザインのモチーフ

扇



◇ モチーフ発想の理由

神田明神の中で幅広く活躍している扇と、福の神
として有名な大黒様から連想し、縁、流れ、交わりを
神田明神のメイン配色である朱色と深緑を使い、
柔らかな曲線とデザインしました。



front



back



front

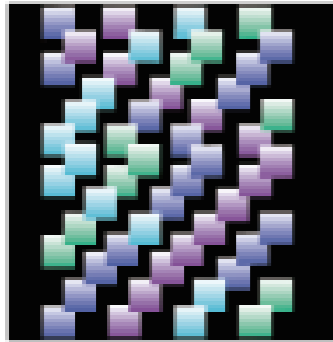


back



◇ 浴衣デザインのモチーフ

クロス

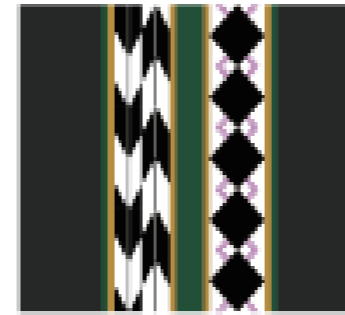


◇ モチーフ発想の理由

えびす様のご利益から様々な縁を結びつけること、交わりをチェックで表現し、えびす様がジャガイモの実の船でいらしたことから水や、流れを寒色で表現しました。

◇ 浴衣デザインのモチーフ

矢・四角



◇ モチーフ発想の理由

御祭神三ノ宮である平将門より、矢を用いました。また、御神殿や石畳、屋根などより四角をイメージしました。



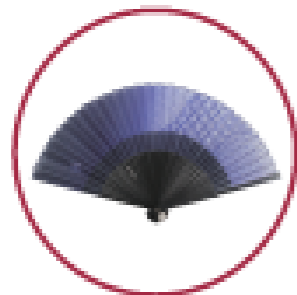
front

back



front

back





◇ 浴衣デザインのモチーフ
神田祭

◇ モチーフ発想の理由

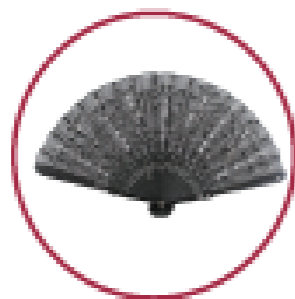
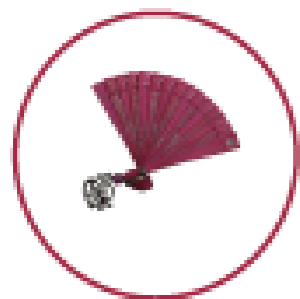
神田明神や神田祭のお話を伺ったことや、御神輿を見せていただいたとき、御神輿や人で賑わう様子を描きました。また鳳凰の羽が印象的であったため羽を描きました。



front



back



◇ 浴衣デザインのモチーフ
うさぎ・波・桜

◇ モチーフ発想の理由

主祭神の大己貴命の因幡の素兎からうさぎ、小彦名命にちなんで波をイメージしました。また共立とのコラボレーションということで桜の花を取り入れました。



front



back





◇ 浴衣デザインのモチーフ
桜

◇ モチーフ発想の理由

時代は移り変わっても神田明神の存在は大きく、日本人の心にある桜と同じであると考えました。花びらで時の流れを、鹿の子1つ1つで刻んできた伝統を表現しました。



◇ 浴衣デザインのモチーフ
薔薇

◇ モチーフ発想の理由

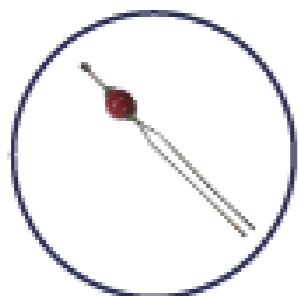
神田明神の一の神が縁結びの神様ということから、その縁結びによって、「愛」という意味を含む花言葉の薔薇がつぼみから花開くというイメージを表現しました。



front



back



front



back





◇ 浴衣デザインのモチーフ

木

◇ モチーフ発想の理由

神田明神が木造であることや、木に纏わる事柄が多いことから、木をモチーフに選びました。

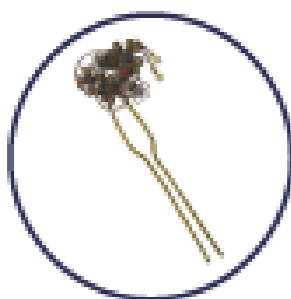
縁結びの神社であるため、木の葉をハートに見立てました。



front



back



主催：共立女子大学 家政学部 被服学科

特別協力：江戸総鎮守 神田明神

協力：株式会社 田中直染料店

帝人フロンティア 株式会社

豊島 株式会社

オカダヤ 新宿本店

株式会社 新京清堂

有限会社 村田商店

株式会社 ユカアンドアルファ

指導：被服意匠研究室 被服管理研究室 被服平面造形研究室



あしがき

本調査研究事業では、千代田区のブランドを「神田明神」をモデルケースに浴衣デザインを発想し、ショーでの発表、イベント参加などを実践してきた。冊子は、本事業の成果として、千代田区のブランドを学内・学外の方々に知っていただく為にまとめたものである。

「2017浴衣スタイリングショー」は、2017年7月5日(水)、18時45分開演し、学生、教職員、学外(企業・父兄、千代田区在住の方々など)を含めて、観客数は約90名となった。関連イベント等への参加は、①2017年5月13日(土)の神田祭に作成した浴衣の着装した2名が参加。②2017年7月7日(金)「2017浴衣スタイリングショー」でお披露目した浴衣を着装して神田明神の七夕祭りに6名の学生が参加。③2017年8月1日(火)千代田区打ち水イベントにて、浴衣スタイリングショーを開催する予定だったが、雨天のため中止となった。実行者のご配慮にてショーは開催、15名がモデルとして参加した。観客は千代田区職員約30名。④2017年8月2日(水)千代田区役所前にて16時からの打ち水イベントに2名参加。⑤2017年8月5日(土)オープンキャンパスにて浴衣スタイリングショーを実施。場所は、共立女子大学本館1階。積極的に複数のイベントに参加することにより、本事業の目的である「千代田区ブランド」をお披露目する機会となった。

これらの事例を通して、千代田区、ひいては地域産業との連携が、支援の透明性を高め、千代田区の情報新たな側面から積極的に開示することができた。今後さらに、千代田区活性化支援の質の向上につながることを検証していきたい。

謝辞

本事業の調査・研究に対し、千代田区より助成を受けました。記して感謝申し上げます。

「神田明神」を基にした浴衣デザイン
～千代田区活性化モデルの確立～

共立女子大学
家政学部 被服学科

